

# 第5次東村総合計画

## 基本構想

## 前期基本計画



平成28年3月

沖縄県 東村





ひと・むら・自然が共生する

未来に輝く農村をめざして

## 東村長 伊集盛久

東村では、「花と水とパインの村」をキャッチフレーズに村民のご理解とご協力に支えられ、魅力ある村づくりのため様々な取組をすすめてまいりました。

平成 18 年に「第 4 次東村総合計画」を策定し、各種施策を推進して総合福祉センター、村立保育所の移転新築、福地川海浜公園などの整備をはじめ、農林水産業補助の充実、各種予防接種費用助成、高校生までの医療費無料化、給食費補助などソフト面の充実も図ってきました。

しかし、近年のめまぐるしい社会情勢の変化の中で村を取り巻く環境が大きく変化しており、本村では基幹産業である農林水産業は農家の高齢化、生産量の減少など大きな影響を及ぼしております。一方で豊かな自然環境を生かしたツーリズム、農家民泊など新たな産業も芽生えています。国は地方分権の一層の進展と地方の独自性を支援する地方創生を推進しており、本村でも新たな村づくりをめざして持続可能な方策が求められています。

本村は、急速な少子高齢化の進行により人口減少が続いており、農林水産業における担い手の確保や、地域行事の衰退などで村の持続も危惧されているところであります。こうした状況を踏まえ、第 5 次総合計画では、東村総合戦略と連携して少子化対策、若者の雇用の確保、人材育成及び福祉の充実など人口減少に歯止めをかける新たな村づくりを目指します。第 4 次総合計画の理念を受け継ぎながら、第 5 次総合計画では、「ひと・むら・自然が共生する未来に輝く農村をめざして」を村の将来像として画きながら計画実現へ向け、各施策を村民の皆様と一緒に取組んでまいります。

最後に、本計画策定にあたってアンケートにご協力頂いた村民の皆様はじめ、貴重な提言をいただきました総合計画審議会、村議会など関係者の方々に厚くお礼を申し上げ、本村の魅力ある村づくりに一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成 28 年 3 月



## 村民憲章

平成八年四月一日制定

わたしたちは、東村民として誇りと責任をもち「豊かな自然の中で生命が輝く農村」をめざして、産業をおこし、活力のある村づくりのため、この憲章を定め、実践につとめます。

一、わたしたちは、自然を愛し、

花と水のあふれる美しい村をつくります。

一、私たちは、伝統文化を重んじ、

つねに学び教養を高め、

文化のかおり高い村をつくります。

一、わたしたちは、心と体をきたえ、

健康で明るい村をつくります。

一、わたしたちは、きまわりを守り、

住みよい村をつくります。

一、わたしたちは、みんなが生き生きと、  
楽しく交流できる村をつくります。

## 東村村歌

作詞・作曲 比嘉副吉

編曲 小林幸男

一、東天高く輝きて

れい明打出す鐘の音に  
自由と平和は鳴り響き  
生まれしその名は東村

二、村の長さは六里半

潮の香 香おる里六ツ  
農業いそしむ村人は  
総てで二千三百余

三、そびゆる北部の連山は

動かぬ象ぞ永久に  
無言に語る村人の  
堅き心ぞ尊しや

四、無限に続く海原と

豊かに繁る森林は  
神の与えし我村の  
尽きせぬ宝ぞ永久に

## 村名の由来

東村は大正12年(1923年)4月1日、旧久志村(現在は名護市に合併)から分離独立し誕生した村である。名称の由来については、旧久志村の東方に位置していることと太平洋に面し、東の空から赤々と力強く朝日が昇ることから「日出るところ東なり」から命名されたと言われている。

## 村章

昭和32年12月選定、昭和53年4月1日選定。光は、東方水平線上より昇る太陽を表し、その影は末広がりになっていて、東村の限りない発展を象徴している。

色は、太陽が金色で、村の農作すなわちみのりを表し、中間の色は濃紺で、村民の英知を表している。



# 基本構想

## 第1章 東村の概要

1. 東村の位置と地勢	1
2. 東村の沿革	2

## 第2章 総合計画の概要

1. 総合計画の目的と意義	5
2. 総合計画の内容と構成	6

## 第3章 東村の現況と課題

1. 東村の現況	8
2. 東村の課題	11

## 第4章 東村の将来像

1. 将来像のキャッチフレーズと基本目標	15
2. 総合計画の全体像（施策の体系）	16
3. 重点プロジェクトの推進	17
4. 土地利用の基本方針	20

## 第5章 施策の大綱

1. 豊かな自然に守られ 地域で生きる村づくり	22
2. 地域のきずな 共同体による健康・福祉の充実	25
3. 地域で育て、世界で活躍する人材輩出の推進	27
4. 東村のブランド力向上による産業の育成	28
5. 未来の村づくりにつなぐ優先的な施策	30
6. 効率的な行財政運営の取組み	30

# 前期基本計画

## 第1章 豊かな自然の中で 地域が活きる村づくり

1. 集落環境の整備	33
2. 道路の整備	33
3. 住宅地の整備	35
4. 水道の整備	37
5. 河川の整備	38
6. 公園整備	39
7. 情報・通信の整備	40
8. 地域エネルギーの創出	41
9. 公共交通の確保	42
10. 廃棄物処理対策	43
11. 公害対策	44
12. 野犬、野良猫、有害鳥獣類対策	45
13. 消防・防災対策	46
14. 交通安全対策	48
15. 防犯対策	50

## 第2章 地域のきずな 共同体による健康・福祉の充実

1. 地域保健福祉の推進	52
2. 児童福祉	53
3. 高齢者福祉	54
4. 母子・父子福祉	56
5. 障害者福祉	57
6. 保健医療	59
7. 国民健康保険	61
8. 国民年金	63

## 第3章 地域で育て 世界で活躍する人材輩出の推進(教育大綱)

1. 学校教育の振興	65
2. 生涯学習の振興	68
3. 社会体育の振興	70
4. 地域文化の振興	71
5. 人材育成の推進	73

## 第4章 東村ブランド力の向上による産業の育成

1. 農業の振興	74
2. 林業の振興	77
3. 漁業の振興	78
4. 商工業の振興	79
5. 観光業の振興	81

## 第5章 未来の村づくりにつなぐ優先的な施策

1. 過疎対策の推進	84
2. 雇用の創出	85
3. 移住・定住の自立促進	87

## 第6章 効率的な行財政運営の取組み

1. 行政運営の拡充	88
2. 財政運営の健全化	91
3. 広域行政の推進	92

## 参考資料

1. 村民アンケート	95
2. 総合計画・総合戦略の策定経緯	104
3. 諮問書	105
4. 答申書	106

